

《 お問い合わせ | 総務課 | 098-998-2200 》

「やえせ桜まつり」

1月20日から2月2日の期間、八重瀬公園にて第18回やえせ桜まつりが開催されました。会場では、桜のライトアップや町魚飛び魚のイルミネーション、再生可能エネルギー（バイオガス）を活用した足湯、よしもと沖縄芸人による動画配信、琉装体験、土日限定でふれあい動物園が開催されるなど様々な企画が行われました。

第18回
やえせ桜まつり

1月20日から2月2日の期間、八重瀬公園にて第18回やえせ桜まつりが開催されました。会場では、桜のライトアップや町魚飛び魚のイルミネーション、再生可能エネルギー（バイオガス）を活用した足湯、よしもと沖縄芸人による動画配信、琉装体験、土日限定でふれあい動物園が開催されるなど様々な企画が行われました。

主な年間行事（予定）

- 1月 初ウガミ
- 6月 アブシバレー・敬老会
- 11月 三世代交流会
- 12月 全体清掃（子ども会も参加）
- 12月 ミニデイ寄植え（屋宜宣行先生）
- ※毎週火・土曜日 ゲートボール愛好会
- 毎週水曜日 運動サークル
- 毎月第3火曜日 ミニデイ

大頓自治会

住所：大頓1313 世帯：80



八重瀬町
サッカーキャンプ

今年はJ1リーグの京都サンガF.C.・東京ヴェルディ、J2リーグのV・ファーレン長崎の3チームがキャンプインし、町主催の歓迎セレモニーで各クラブを迎えました。

京都サンガF.C. 1月13日～1月26日 in 東風平サッカー場

八重瀬町キャンプは今年で7年目。キャンプ最終日に開催していただいている毎年恒例となったサッカー教室では64名の町内サッカー少年が参加しました。

東京ヴェルディ 1月13日～1月24日 in 八重瀬町スポーツ観光交流施設

昨年に引き続き今年で2回目の八重瀬町キャンプ。FC琉球との試合も行う等、今年も具志頭サッカー場を盛り上げてくれました。

V・ファーレン長崎 1月25日～1月31日 in 八重瀬町スポーツ観光交流施設

今年初めての八重瀬町キャンプ。約1週間と短い期間でしたが具志頭サッカー場を活用していただきました。

やえせの昔話 ③
鴨とりウスメー

【話者】明治44年生 男性 字伊覇 出身

これは明治の初期の話だったと私は思っているんだけどね。鴨とりウスメー（おじいさん）という人がいらしたそう。この人はね、佐敷の海で鴨を捕りに行こうと、大変じょうぶな綱を作って持っていたそう。

佐敷あたりの海に着くと、お爺さんは鴨に気づかれないようにゆっくりと泳いでいった。鴨を一匹捕まえると、おじいさんは頑丈な縄で鴨の足をくくり、着物の帯に結びつけた。そんなふうにして、鴨を捕まえては、帯にどんどんくくりつけていった。

浜辺に着くと、何かの拍子でおいさんが転んでしまったんだ。うね。帯にくくりつけた鴨の一匹が驚いて飛び上がった。すると他の鴨もみんな揃ってばたばたと飛び始めたものだから、お爺さんは着物の帯ごと鴨に引き上げられて、ふっ飛ばされた。そのまま一緒に飛んでいたら、もう真夜中になってしまった。佐敷から稲

福（旧大里村字大城の集落）のあたりを鴨と一緒に飛んでいるお爺さんがいようとは誰も気づかない。おじいさんがどんなに「稲福ヘーイー」と空から叫んでも、誰も起きない。

その後はね、山の松の木かなにかに引っ掛かって「ああ助かった。よかった」とおじいさんは言っている。片手で強く木をつかみながら「な、でーじやくとうん（もう大変だから）」と言って、一つ一つ鴨の足にくくりつけた縄を外して、なんとか木から降りて家に帰っていた。

それからは鴨とりをやめてしまった。うだが、おじいさんは皆から鴨とりウスメーという名前をつけられたそうだよ。



資料館
ホームページ

今回、掲載した昔話は昭和57年～59年に八重瀬町内各字の皆様のご協力を得て収集した昔話の内の一話です。令和5年度より「八重瀬町伝承話資料保存継承事業」が始まり、この事業の一環で話者のご家族にその当時収集した昔話について、使用許諾を得られた話を紹介しています。

ホームページでもたくさんのお話を紹介しているので、ぜひアクセスして他の昔話もご覧ください。

《 お問い合わせ | 生涯学習文化課 文化班 | 098-835-7500 》